

令和4年度事業報告

1 活動の基調

『ともに生きる福祉のまちづくり』

2 活動の総括

令和4年度、社会福祉協議会では、「コロナだからできない」から「コロナでも取り組む」を念頭におき、事業展開に取り組んで来た。

地域福祉事業においては、これまで中止してきた「ふれあい広場」を感染防止対策を取りながら3年ぶりに開催することができた。ボランティアクリスマス交流会は、飲食を伴うことから「ボランティア交流会」に形を変えて実施。また、コロナの影響から孤立した人には、ボランティアを養成し、「見守り・声かけ活動」につなげたほか、居場所づくりにも力を入れた。

通所介護事業では、コロナの影響から休業せざるを得ない状況があり、大幅な減収となったが、デイサービスでは介護予防を含む総合事業利用者が増加傾向にある。また、「放課後等デイサービス事業」についても、定員を上回る利用希望があった。生活介護事業所はばたきは、利用者の動向にあわせ、生活介護のみに変更したことで利用枠を拡大し、社協内での共生社会を実現した。

一方、介護保険制度は令和6年度の改正に向け、人員基準の見直しや業務効率化、ICTに関する議論がされていることから、設備投資も含めた研究が課題となった。

なお、災害時における福祉避難所の開設については、連絡会を開き協議を始めたところであり、今後も必要な支援や運営ができるよう行政との連携を強化していく。

3 社会福祉協議会の運営

(1) 会議等の開催

ア 理事会の開催

- ① 令和4年6月2日
 - ・令和3年度事業報告及び決算報告について
 - ・評議員の推薦について
 - ・一般職員及び嘱託職員給与規程の一部改正
- ② 令和4年12月15日
 - ・一般会計第1次補正予算について
 - ・評議員の推薦について
 - ・評議員選任・解任委員の選任について
 - ・第三者委員の選任について
- ③ 令和5年3月20日
 - ・令和5年度事業計画及び一般会計予算について

イ 評議員会の開催

- ① 令和4年6月21日
 - ・令和3年度事業報告及び決算報告について
- ② 令和4年12月23日
 - ・一般会計第1次補正予算について
 - ・理事の選任について
- ③ 令和5年3月24日
 - ・令和5年度事業計画及び一般会計予算について

ウ 監査の実施

令和4年5月25日

- ・令和3年度事業報告及び決算状況の監査

令和4年10月28日

- ・令和4年度上半期事業報告及び中間監査

エ 地域福祉推進委員会の開催

令和4年6月16日・17日 地域福祉推進員の役割、社協事業の説明、会費収納依頼

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、地区を分けて2日間にわたり開催

オ 評議員選任・解任委員会の開催

令和4年6月10日 評議員の選任

令和4年12月20日 評議員の選任

(2) 社会福祉協議会表彰の実施

表彰規程に基づく表彰状及び感謝状の贈呈

表彰規程第2条該当者13名に表彰状を贈呈

表彰規程第3条該当者1名に感謝状を贈呈

表彰式: 令和5年2月5日(日)午後1時30分 (受賞者7名出席)

(3) 社協事業の改革と地域福祉の推進

社協事業の全体的な見直しと住民ニーズにあった福祉事業を推進していくため、「社協の
ころろいいじま」のもと、各事業ごと、個人の目標を設定し、改革に取り組んだ。

(4) その他

各事業、施設での安全対策の確立、情報公開及び個人情報の保護に適切に対応していく
とともに、マニュアル整備に着手し、職員の資質の向上に努めた。

(2) 社会福祉協議会の会員と会費

会員区分		件数	令和3年度	令和4年度	比較
		金額			
一般会費	1,500円	件数	2,403 件	2,374 件	▲ 29 件
		金額	3,604,500 円	3,561,000 円	▲ 43,500 円
特別会費	3,000円	件数	59 件	54 件	▲ 5 件
		金額	177,000 円	162,000 円	▲ 15,000 円
	5,000円	件数	11 件	11 件	0 件
		金額	55,000 円	55,000 円	0 円
	10,000円	件数	5 件	4 件	▲ 1 件
		金額	50,000 円	40,000 円	▲ 10,000 円
	その他	件数	9 件	1 件	▲ 8 件
		金額	18,500 円	3,500 円	▲ 15,000 円
小計	件数	84 件	70 件	▲ 14 件	
	金額	300,500 円	260,500 円	▲ 40,000 円	
賛助会費	3,000円	件数	25 件	26 件	1 件
		金額	75,000 円	78,000 円	3,000 円
	5,000円	件数	24 件	31 件	7 件
		金額	120,000 円	155,000 円	35,000 円
	10,000円	件数	17 件	23 件	6 件
		金額	170,000 円	230,000 円	60,000 円
	その他	件数	1 件	1 件	0 件
		金額	50,000 円	50,000 円	0 円
小計	件数	67 件	81 件	14 件	
	金額	415,000 円	513,000 円	98,000 円	
総計		件数	2,554 件	2,525 件	▲ 29 件
		金額	4,320,000 円	4,334,500 円	14,500 円

・5年間の比較

件/円

	年度	30年	元年	2年	3年	4年
一般会費	件数	2,457	2,423	2,425	2,403	2,374
	金額	3,685,500	3,634,500	3,637,500	3,604,500	3,561,000
特別会費	件数	110	94	84	84	70
	金額	395,000	334,500	304,500	300,500	260,500
賛助会費	件数	78	80	69	67	81
	金額	490,000	495,000	423,000	415,000	513,000
総計	件数	2,645	2,597	2,578	2,554	2,525
	金額	4,570,500	4,464,000	4,365,000	4,320,000	4,334,500

4 主要事業

(1) 地域福祉事業(1100)

住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、地域のみなさまと共に地域の実情に合ったサービスを提供できるよう事業の開催や支援を実施

1110 法人管理運営

- ア 戦傷病没者追悼式の実施 **【町補助】**
 期日:7月8日(金) 71名(内遺族 33名、来賓26名、保護者等2名、主催者・職員10名)
 会場:飯島町文化館 大ホール
- イ 飯島町社協福祉サービスにおける苦情解決に関する取り組み
 12月19日 第三者委員会を開催し、15件の苦情要望を報告

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	23,430,358	34,710,981	△ 11,280,623	△ 1,671,500	12,507,662	△ 444,461
令和4年度	9,611,071	15,342,898	△ 5,731,827	0	5,363,177	△ 368,650

1120 地域福祉サービス事業

- ア 住民支えあいマップの更新 **【町補助】**
 ・災害時の助け合いはもちろん、日ごろからの住民同士の支えあいのために自治会ごとの作成・更新を依頼、支援
 21自治会で作成・更新済。新型コロナウイルス感染症の影響から中止した自治会あり
- イ 「ご縁食堂」の開催
 ・各地区公民館等を会場に、子どもから高齢者まで誰もが集い、地元の食材などを使い、地元の方を講師に郷土食などをみんなで作り、食す会とし、世代間交流のできる居場所づくりを目的に計画
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からテイクアウトと配食にて対応するも5回中止となる。
 ・食数:541食、ボランティア:51名が協力

回	期日	場所	内容	開催方法	参加人数・配食数
1	5月21日	成人大学センター	ちらし寿司	テイクアウト・配食	52名
2	6月18日	本郷公民館	ハンバーグ弁当	テイクアウト・配食	66名
3	8月1日	田切公民館	カレーライス	中止	—
4	8月3日	七久保林業センター	カレーライス	中止	—
5	8月4日	本郷公民館	カレーライス	中止	—
6	8月5日	成人大学センター	カレーライス	中止	—
7	9月17日	成人大学センター	—	中止	—
8	10月1日	七久保林業センター	押し寿司	テイクアウト・配食	67名
9	11月19日	田切公民館	里いもご飯	テイクアウト・配食	68名
10	12月17日	成人大学センター	お好み焼き	テイクアウト・配食	98名
11	2月18日	成人大学センター	炊き込みご飯	テイクアウト・配食	88名
12	3月18日	成人大学センター	豚の角煮	テイクアウト・配食	102名

ウ 季節の会の開催

出かける場所が限られた方たちを対象に、季節に併せた外出、買いものの機会を提供
コロナ禍、感染症防止対策を徹底しながら開催

回	期 日	内 容	参加人数
1	6月9日	プラネタリウム鑑賞・西友で買い物	15名
2	10月12日	そらさんぼ天竜峡・パースで買い物等	13名
3	12月26日	駒ヶ根市内ドライブ・シャトレーゼ、ツルヤで買い物	11名
4	3月14日	昼神温泉つるし雛見学・チャオで買い物	10名
合 計			49名

エ 福祉教育の推進

小・中学校に働きかけ、学校と連携し教育課程に基づいた福祉教育を推進

(ア) 地域の小、中学生を対象に福祉教育の場を提供

夏休み福祉教育(町内小中学生)

- ・認知症サポーター講座とレクリエーション体験(7月28日:3名参加)
- ・生きがい活動教室との交流会は新型コロナウイルス感染警戒レベルが上がり中止
(田切地区3名、七久保地区8名の参加希望があった)

(イ) 福祉教育(認知症サポーター養成講座)

- ・6月22日、24日、7月5日 飯島中学校3年生83名
- ・11月16日、17日 飯島小学校3～6年生182名

オ 日常生活用具貸与事業

・疾病及びケガ等に対する日常生活用具の無料貸出

・一時貸出・お試し貸出

用具名	当初保有数	前年度貸出回数	貸出数	処分	年度末保有数
車イス	15台	18回	15回	5台	10台
ポータブルトイレ	6台	7回	14回	0台	6台
歩行器	3台	5回	7回	0台	3台
シルバーカー	3台	0回	2回	0台	3台
杖	4本	3回	0回	0本	4本
シャワーベンチ	4台	4回	2回	0台	4台

カ 金銭管理・財産保全サービス事業

相談 2件 ・ 契約 1件 サービス利用者 5名

12月19日 金銭管理財産保全事業運営監視委員会

キ 日常生活自立支援事業

相談 7件 サービス利用者 3名

ク 心配ごと相談所の開設

【町補助】

民生委員には「歩く心配ごと相談所」として毎月訪問して話を聞いてもらい、毎月行われる民生児童委員協議会で報告してもらい必要な機関に繋いだ。
また社協職員が随時、電話や来苑者の対応を行った。

ケ 弁護士・司法書士無料法律相談

弁護士及び司法書士による無料法律相談を年6回実施した。

開催日	担当相談員	相談件数
4月20日(水)	武田雄作 弁護士	1件
6月15日(水)	出崎未那子 司法書士	3件
8月17日(水)	坂井活広 弁護士	2件
10月3日(月)	小林美穂、古田千洋司法書士	12件
12月21日(水)	及川裕貴 弁護士	3件
2月15日(水)	小林美穂 司法書士	6件
計	6回	27件

コ 学習支援事業 【県受託事業】

県より信州パーソナルサポート事業として受託。生活困窮家庭の子どもに対する学習・生活支援を行う。教育委員会・各学校への事業の説明、学習支援サポーターの養成・研修を行うとともに、支援を必要とする家庭へ学習支援協力員を派遣調整
・小学生～高校生世代の児童生徒13人に実施(うち新規4名、再支援2名)

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	7,173,473	4,471,926	2,701,547	△ 120,500	170,000	2,751,047
令和4年度	7,460,801	5,865,500	1,595,301	0	△ 230,478	1,364,823

1130 共同募金配分金事業

ア 第30回飯島町ふれあい広場の開催

- ・10月23日(日)地域福祉センター石楠花苑駐車場にて3年振りに開催
新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、飲食なしで実施
ふれあいマーケット21店舗、ふれあいステージ10組の個人・団体参加、来場者数
およそ600名

イ 第9回飯島町社会福祉大会の開催

- ・令和5年2月5日(日)飯島町文化館大ホールにて開催
講演「これって虐待?～人の権利を守るということ～」来場者数131名

ウ ふれあいいいききサロン等の開催への支援

- ・住民らが定期的に交流やふれあいの場を設けることにより、高齢者や障がい者等出かける
場所が限られている方の楽しみ場・集いの場として開催
新型コロナウイルス感染状況をふまえて、団体ごとの判断で開催
ふれあいいいききサロン 19自治会で延109回開催 998人参加

エ 社協報「ふくし」・ボランティア情報誌「さくらそう」の発行、ホームページの充実

- ・社協報・ボランティア情報誌の発行 年4回(4・7・10・1月)
- ・ホームページの更新…ボランティア活動やイベントのお知らせなどを掲載

オ 福祉教育普及校の指定事業

- ・令和4年度は飯島中学校を指定
※飯島中学校・飯島小学校・七久保小学校の3校を順番で指定

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	1,149,450	1,149,450	0	0	0	0
令和4年度	1,054,342	1,054,342	0	0	0	0

1140 ボランティアセンター事業

ア ボランティアセンター運営委員会の開催

- ・第1回運営委員会を5月10日(火)に開催
- ・第2回運営委員会を3月17日(金)に開催

イ ふれあい広場にてボランティアの紹介

- ・地域福祉センターエントランスホールにて活動を紹介

ウ ボランティア団体の活動

(ア) 登録ボランティアの状況

個人 25名 団体 34団体、439名

(イ) 朗読奉仕「声の輪」グループ

- ・「声の広報」(いいじま未来飛行、社協報ふくし)をCDに録音、ご自宅へお届け

(ウ) いいじま おもちゃ図書館活動

- ・毎月第1、3土曜日 コスモス園でボランティアグループ糸ぐるまのおもちゃ貸し出し

(エ) 傾聴ボランティア活動

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動中止

(オ) 絵手紙クラブ

- ・月1回会議室を会場に絵手紙を書く
- ・ご縁食堂の配食時に添えてお届け

(カ) ニットソーイング

- ・月1回会議室を会場にニットソーイングを楽しむ
- ・ふれあい広場にて作品を販売し売上金の一部を社協に寄附あり

(キ) 健康麻雀

- ・毎週水・土曜日を中心に会議室を使って、仲間づくり、閉じこもり予防、生きがいづくりとして麻雀を行う

エ 第28回ボランティアクリスマス交流会

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、飲食を伴ったボランティアクリスマス交流会はできなかったが、1月21日(土)ボランティア交流会という形に変えて実施(22名参加)

オ 「社協ありがとうカード」事業

ボランティア活動をした方に、感謝の意をこめて、カードにポイントを押印して30ポイントか50ポイントたまったらところで、こまき園の商品と交換
50ポイント:29名、30ポイント:2名

カ ボランティアの発掘と養成

・やらまいか講座

何かしたいと感じている方が、ボランティア活動や仲間づくりにつなげることを目的に開催

回	期日	内容等	参加者数
1	7月13日	切り絵体験	8名
2	10月27日	アロマジェルでハンドトリートメント	8名
3	12月14日	しめ縄飾りを作ろう!	10名
4	2月9日	フラワーアレンジメント	6名
合計			32名

・第36回上伊那ブロックボランティア交流研究集会

令和5年1月21日(土)地域福祉センター石楠花苑会議室にて開催
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各社協を会場にオンラインでの実施
参加者23名

キ 安心コール事業

一人暮らし高齢者または高齢者世帯の登録者に対して、協力ボランティアさんが週1回、電話にて安否確認
 現在、利用者8名、ボランティア8名
 新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながらボランティアと社協職員とで実施

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	876,365	385,998	490,367	0	△ 16,565	473,802
令和4年度	616,230	402,122	214,108	0	△ 8,930	205,178

1150 有償福祉サービス事業

地域の中で、住民同士が助け合い、支え合っている生活支援サービスとして、住民の自立した生活を支えられるよう、調整を図る

ア 有償サービス事業の推進

・家事援助サービス、身体介助サービス及びその他のサービス

(延べ人数/回数)

	令和3年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	18人	1	3	2	3	1	1	1	1	2	1	0	0	16人
延べ利用回数	75回	9	9	11	11	1	1	1	1	2	1	0	0	47回
主な内容	草取り、宅内掃除、整理整頓、食事作り、買い物、ゴミ出し 身の回りの世話(身体介護)													

・運送サービス (道路運送法第9条許可事業)

	令和3年度	令和4年度
実利用者数	2名	2名
延べ利用回数	13回	29回
利用内容	上下伊那地域内への通院、入退所ほか	

・福祉車両貸渡(車いす車)事業

・車椅子でないと移動できない方のために福祉車両(車イス車両)を社協会員の 方に貸渡

	令和3年度	令和4年度
実利用者数	29名	28名
延べ利用回数	115回	121回
利用内容	上下伊那地域内への通院、入退所ほか	

イ 高齢者生活自立支援サポーター派遣事業(おひさまサポーター)

利用状況

年度	令和3年度	令和4年度
実派遣対象者数	1人	1人
延べ派遣時間	29時間	30時間

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	405,071	341,537	63,534	0	0	63,534
令和4年度	352,870	284,300	68,570	0	0	68,570

1160 資金貸付事業

ア 厚生資金貸付事業

貸付の厳格管理を行うとともに、資金ニーズ以外に必要な支援の調整を図る

・3月末現在の状況(新規6件)

年度	前期末貸付合計	貸付件数	貸付額	償還額	不納処理	貸付合計
令和3年度	348,000円	8件	238,000円	283,000円	0円	303,000円
令和4年度	303,000円	15件	253,000円	280,000円	0円	276,000円

イ 県社協「生活福祉資金貸付制度」の斡旋、相談

相談 9件 斡旋 2件(新型コロナウイルスに伴うもの)

ウ 信州パーソナル事業(自立相談支援事業)

「生活困窮者自立支援法」施行に伴う「生活就労支援センターまいさぼ上伊那」

・出張相談所の業務の受託

相談 37件 ケース会議 10件 支援調整会議 6回

まいさぼへの連絡 7件

エ フードバンク開設

・町内外の個人、団体、企業等から48件寄付あり

・令和4年度は常設以外に「食糧支援の日」(定期開催)を年6回実施(延べ56名利用)

・常設の食糧支援は延べ37名利用

オ 法人後見受任に向けた研修・研究

オンライン研修等に参加

カ 歳末慰問

主に厚生資金、コロナ特例貸付を受けている困窮者の中で、特に必要性の高い8名を対象に訪問、米やレトルト食品などを配布

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	2,539,800	1,828,538	711,262	△ 38,500	0	672,762
令和4年度	2,370,400	1,629,459	740,941	0	△ 2,650,000	△ 1,909,059

5 その他の事業

ア 日本赤十字社飯島町分区の活動

・奉仕団役員会議 3回(4月18日、8月10日、3月28日)

・飯島分区奉仕団連絡会議 5月26日・27日(感染拡大防止のため2回に分けて開催)

・炊き出し訓練(中止) 9月4日(日)町防災訓練中止のため実施せず

・国内外の大規模災害の被災者への義援金・救援金の募集(実績額:84,550円)

・奉仕団講習会 3月5日(日)「包装食袋を使った炊き出し」「身近な応急手当」

イ 長野県共同募金会飯島共同募金委員会の活動

・4月25日 2団体へ令和3年度「安心・安全な町づくり活動支援公募配分事業」目録贈呈

団体ごとに事業実施し、報告等支援

団体名	事業名	内容	配分金
田切区 自主防災会	避難所用物品整備事業	ハロゲンヘッドライト セット他	200,000円
七久保地区 地域づくり委員会	避難所用物品整備事業	救急セット(10人用)	132,000円

・10月赤い羽根募金、12月歳末助け合い募金

・共同募金配分金事業(3年度募金分の配分金)

・令和4年度「安心・安全なまちづくり活動支援公募配分事業」募集 4団体申請

6 町補助受託事業

1120 福祉バス(やすらぎ)運行事業

【町補助】

生きがい活動教室や季節の会等で運行

新型コロナウイルスの影響で、いきいきサロンやいちいの会の利用が少なかった。

利用状況

年度	延運行回数	延利用者数
令和3年度	57回	600人
令和4年度	21回	257人

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	300,000	315,363	△ 15,363	0		△ 15,363
令和4年度	430,000	432,750	△ 2,750	0		△ 2,750

1220 生きがい活動教室事業

【受託事業】

・「運動」「栄養」「生涯学習」などを通じ、生きがいづくりや健康づくりにつなげることで高齢者の自立支援を目指す

・対象者:65歳以上の希望者 ・各地区公民館等で月3回開催

・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から8～9月は活動を中止

中止期間は電話にて安否確認。

家でできる体操や脳トレなど印刷物をポスティングしたり、個別訪問にて対応

1月～2月上旬、4月～5月、10月下旬～12月までは半日で活動

活動状況

(人)(回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	回数	人/回
令和3年度計	178	174	195	175	90	97	182	177	203	132	0	0	1,603	136	11.79
地区名	飯島上	24	25	27	26	0	0	21	19	25	23	25	244	28	8.71
	飯島下	34	33	38	45	0	0	47	39	33	23	40	359	27	13.30
	田切	23	22	26	23	0	0	20	19	20	15	11	193	27	7.15
	本郷	44	45	47	49	0	0	42	40	41	33	37	415	27	15.37
	七久保	31	32	31	28	0	0	36	34	35	35	34	326	27	12.07
令和4年度計	156	157	169	171	0	0	166	151	154	129	147	137	1,537	136	11.30

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	8,732,169	8,837,496	△ 105,327	△ 374,000	△ 433,398	△ 912,725
令和4年度	7,699,500	7,504,006	195,494	0	△ 234,659	△ 39,165

1221 生活支援体制整備事業及び家族介護教室

【受託事業】

住民一人ひとりができることを大切にしながら暮らし続けられるように、地域資源のマッチング、掘り起し、多様な主体が連携・協力する地域づくりを推進

ア 地域資源の開発

・新田「ささえ合い」の会の立ち上げを支援

・ベル友会の立ち上げを支援

・居場所や通いの場への送迎や家事支援と一体となった移動支援の実現に向け
駒ヶ根自動車学校に安全運転講習会を実施(受講者6名)

・見守り声かけボランティア活動の立ち上げ

利用ニーズを探るため、アンケートを実施。78名が関心ありと回答、関心があると答えた方に事業内容の説明・訪問・マッチング

イ ネットワーク構築

- ・協議体をつくり、コロナ禍における新たな生活課題について検証
- ・見守り声かけボランティア養成講座
9月27日(火)地域福祉センター石楠花苑にて開催(受講者16名)
- ・見守り声かけボランティア活動報告会を開催(8名出席)
- ・居場所ミーティングへの参加
第4水曜日に桜咲代にて定期開催
- ・飯島版お助け隊を考える会でのPR
多くの団体・個人と情報共有し横のつながりを構築

ウ ニーズと取組みのマッチング

- ・見守り声かけ訪問の利用ニーズを探るため、アンケートを実施
78名が関心を示し、事業内容の説明・訪問・マッチングを実施
活動実績6件(ボランティア登録9名)
- ・コロナ禍、いきいきサロンの実情について、4月・1月に聞き取りを実施
- ・チラシ「社協はくらしの応援団」を作成、社協事業の紹介やニーズへのマッチング

エ 家族介護教室事業 【受託事業】

- ・介護方法、介護予防及び介護者の健康づくり等について学びあう教室の開催

回	期 日	内 容	参加人数
1	6月28日	からだづくりとリフレッシュの体操を!!	5名
2	9月30日	知っておきたい薬のはなし!	17名
3	11月12日	ストレスと上手につき合う方法	8名
4	1月18日	粘土細工を通じての「作業療法」体験	5名
合 計			35名

収支状況

年 度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	6,386,000	6,092,977	293,023	△ 91,500	40,000	241,523
令和4年度	7,060,400	7,071,225	△ 10,825	0	△ 161,996	△ 172,821

1240 地域福祉センター管理事業 【受託事業】

建設から約30年経過しているため、設備等の老朽化により、修繕や取替えなどが増加している。水道の漏水箇所は特定が難しい状況である。また、消防設備点検が年2回となり、費用も2倍になった。

修繕等実施経費内訳

項目	内 容	金 額
修繕	非常用発電装置バッテリー交換	185,790
	ガス漏れ警報器取替	22,000
	食堂建具ガラス修繕	88,000
	消火器取替	42,075
	消防設備点検不良箇所修繕	935
	ボイラー室内機器修繕	710,600
	水道漏水調査点検修理	740,300
	小計	1,789,700
保守	電気保安管理	260,496
	消防設備点検	456,500
	建築物定期検査	0
	防火扉定期検査	82,500
小計	799,496	
	じゅうたんクリーニング・受水槽清掃	146,014
	小計	146,014
合計		2,735,210

収支状況

年 度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	434,900	984,197	△ 549,297	0	560,000	10,703
令和4年度	2,056,000	2,735,210	△ 679,210	0	690,000	10,790

施設整備状況

支出コード	内 容	金額	備 考
1330 通所介護	空調設備改修工事(工事・設計監理)	6,578,000	社会福祉施設等エネルギーコスト削減促進事業 補助金 4,935,000円
	厨房業務用冷凍冷蔵庫更新	660,000	
	深夜電力用高圧真空コンタクト設置工事	825,000	
町費	雨漏り修繕工事(工事・設計監理)	2,298,000	町費より直接支払い
	玄関自動ドア開閉装置取替修繕	781,000	

1270 救急医療情報キット事業

【受託事業】

高齢者や障がい者などの安全・安心を確保することを目的に「かかりつけ医」や「薬剤情報」「持病」などの医療情報や、「診察券(写)」「健康保険証(写)」などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、万一の救急時に備えるもの。

・対象者:75歳以上の高齢者の方、65歳以上の高齢者のみの世帯、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方などで希望する方

・配布及び記載支援実施状況

年度	継続支援	新規支援	新規配付	合計
令和3年度	299件	47件	2件	348件
令和4年度	288件	125件	0件	413件

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	524,436	653,207	△ 128,771	0	70,000	△ 58,771
令和4年度	622,391	731,741	△ 109,350	0	100,000	△ 9,350

1280 ひきこもり相談支援体制業務

【受託事業】

・県精神保健福祉センター職員、役場調整幹と連携を取りながら、サポーターさんとの顔合わせ、居場所づくり、また新たに「ひきこもり支援者」養成研修会を開催するなどして、支援体制を整え始めた。

・個別面談を月1回実施(相談者4名)

・家族の集まりの会を開催

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	1,697,033	1,420,743	276,290	0	0	276,290
令和4年度	850,000	885,974	△ 35,974	0	△ 51,384	△ 87,358

1282 福祉事務所未設置町村相談業務

・生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対し途切れのない相談体制を構築することで生活困窮者等の自立の促進を図る

・相談者 35名(延べ82名)、うち生活困窮者21名(延べ58名)

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和4年度	1,895,000	2,020,000	△ 125,000	0	△ 99,000	△ 224,000

7 介護保険事業の経営(1300)

「介護予防・日常生活支援総合事業」を含めた、介護保険事業推進のため、地域と密着したサービスを提供

1310 居宅介護支援(ケアプラン作成)事業

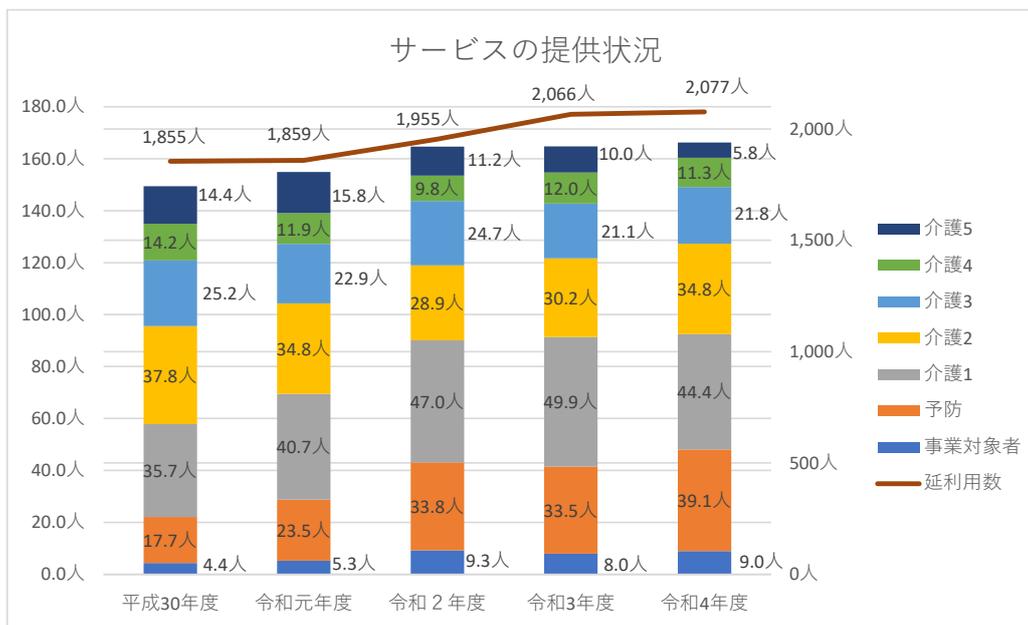
・1年間算定要件を満たし、特定事業所加算Ⅱを維持できた。

ア 事業所の概要

事業所の種類	指定居宅介護支援事業所
事業所名	飯島町社協指定居宅介護支援事業所
指定年月日	平成11年7月30日（令和2年3月4日指定更新）
指定番号	2072400035
人員体制	6名（常勤換算 4.8人）

イ サービスの提供状況（1ヶ月あたりの要介護度別平均利用数及び延利用数）

年度	事業対象者	予 防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	月平均	延利用数
平成30年度	4.4人	17.7人	35.7人	37.8人	25.2人	14.2人	14.4人	154.6人	1,855人
令和元年度	5.3人	23.5人	40.7人	34.8人	22.9人	11.9人	15.8人	154.9人	1,859人
令和2年度	9.3人	33.8人	47.0人	28.9人	24.7人	9.8人	11.2人	162.9人	1,955人
令和3年度	8.0人	33.5人	49.9人	30.2人	21.1人	12.0人	10.0人	172.1人	2,066人
令和4年度	9.0人	39.1人	44.4人	34.8人	21.8人	11.3人	5.8人	173.1人	2,077人



ウ 介護者元気回復事業の開催

・予定していた元気回復事業については、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら実施した

回	開催日	内 容	参加者数
1	7月11日	伊那方面へ外出	8名
2	10月5日	木曽御岳へ外出	11名
3	12月1日	みはらしファームへ外出予定も中止	

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	27,896,607	22,766,580	5,130,027	△ 735,256	△ 1,779,154	2,615,617
令和4年度	26,478,142	22,413,126	4,065,016	△ 1,835,256	△ 1,682,307	547,453

1320 訪問介護(ホームヘルパー派遣)事業

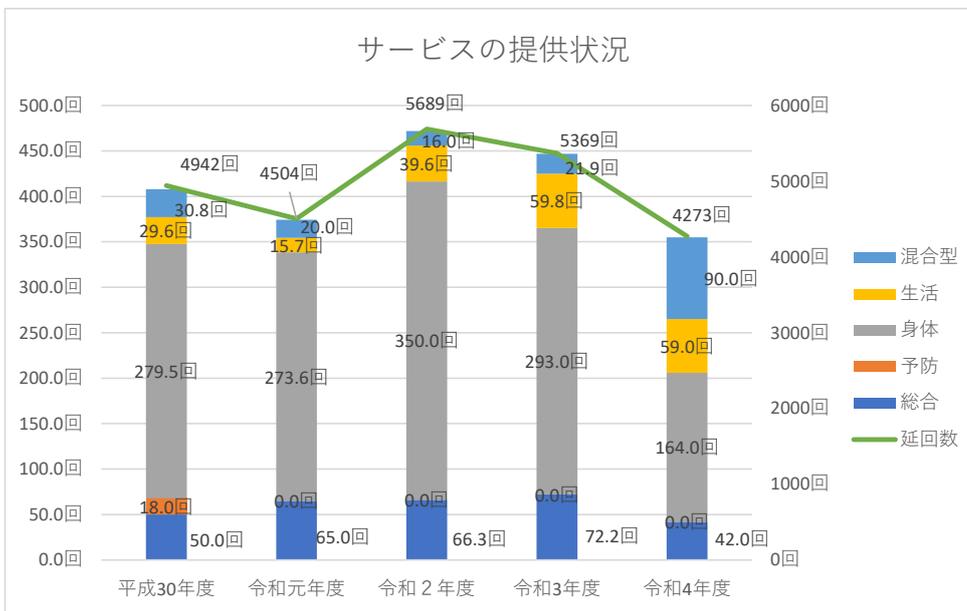
・介護度の高い方の身体介護の利用が減り、独居の方の生活支援や要支援者、事業対象者の利用が増して、報酬減となった。

ア 事業所の概要

事業所の種類	指定(介護予防)訪問介護事業所
事業所名	飯島町社協指定訪問介護事業所
指定年月日	訪問介護 平成11年10月29日 (令和2年4月1日指定更新) 日常生活支援総合事業 (平成29年4月1日指定)
指定番号	2072400209号
人員体制	6名(常勤換算 4.5人)

イ サービスの提供状況 (1ヶ月あたりのサービス別平均利用回数及び延利用回数)

年度	総合	予防(訪問型)	身体	生活	混合型	実人数	月平均	延回数
平成30年度	50.0回	18.0回	279.5回	29.6回	30.8回	37.4人	411.8回	4,942回
令和元年度	65.0回	-	273.6回	15.7回	20.0回	38.0人	375.3回	4,504回
令和2年度	66.3回	-	350.0回	39.6回	16.0回	39.0人	474.0回	5,689回
令和3年度	72.2回	-	293.0回	59.8回	21.9回	39.0人	447.0回	5,369回
令和4年度	42.0回	-	164.0回	59.0回	90.0回	43.0人	356.0回	4,273回



収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	16,455,051	14,220,857	2,234,194	△ 135,376	△ 696,719	1,402,099
令和4年度	14,086,608	17,886,453	△ 3,799,845	△ 96,876	2,948,617	△ 948,104

1330 通所介護(デイサービス)事業

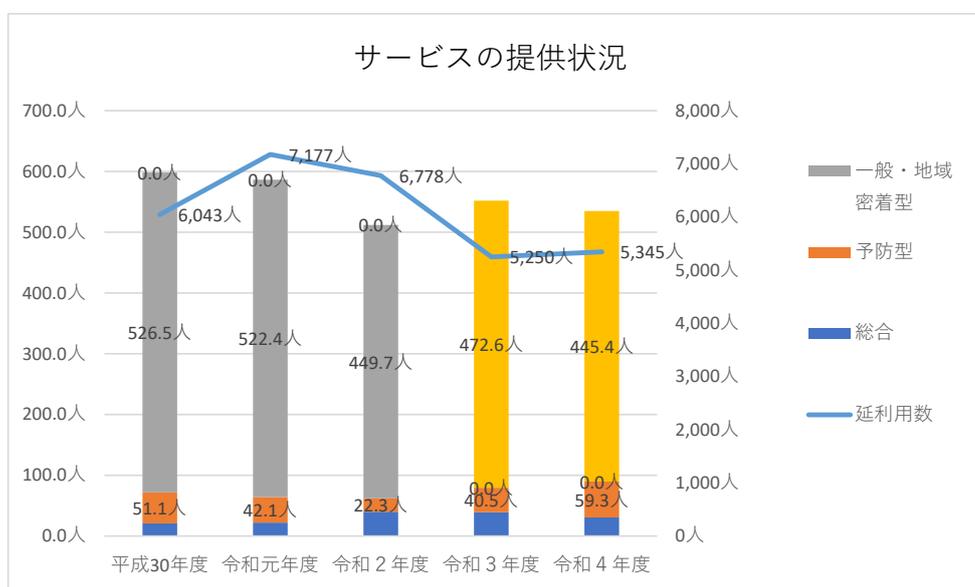
- ・コロナ感染症による休業日 5/13～17 11/8～13 1/27～29 休業日13日間
- ・コロナ感染症の影響はあったが、感染症対策に努め可能な限り事業を継続した。
- ・ボランティア活動や交流を実施したが、コロナ感染症の影響から中止せざるを得ない活動もあった。
- ・レクリエーションは人数を分け、少人数で実施(カラオケと囲碁ボールの選択など)
- ・感染症対策に努め、楽しみの外出活動を実施することができた(春のドライブ、秋のぶどう狩り)。

ア 事業所の概要

事業所の種類	指定(介護予防)地域密着型通所介護事業所
事業所名	飯島町デイサービスセンター石楠花苑
指定年月日	通所介護 平成11年12月27日 (令和2年4月1日指定更新)
	地域密着型通所介護 令和2年11月1日
	総合事業 平成18年4月1日 (平成30年4月1日指定更新)
指定番号	地域密着型 2092400247 ・ 総合事業 2072400266
人員体制	18名(常勤換算 11.0人)

イ サービスの提供状況 (1ヶ月あたりのサービス別平均利用人数及び延利用人数)

年度	総合	予防型	一般型	地域密着	実人数	月平均	延利用数
平成30年度	20.8人	51.1人	526.5人	—	69.3人	598.1人	6,043人
令和元年度	22.0人	42.1人	522.4人	—	69.3人	564.8人	7,177人
令和2年度	39.8人	22.3人	449.7人	404.2人	49.8人	437.5人	6,778人
令和3年度	38.9人	40.5人	—	393.2人	59.6人	472.6人	5,250人
令和4年度	30.4人	59.3人	—	355.6人	47.2人	445.4人	5,345人



※令和2年度は11月から地域密着型通所介護に移行したため、一般型と地域密着型の平均値を表記

収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	59,859,901	61,023,816	△ 1,163,915	△ 4,688,876	△ 2,241,051	△ 8,093,842
令和4年度	67,161,170	70,159,169	△ 2,997,999	△ 8,159,876	9,890,060	△ 1,267,815

8 障害福祉サービス事業(1400)

1410 特定相談支援事業(障害児相談支援含む)

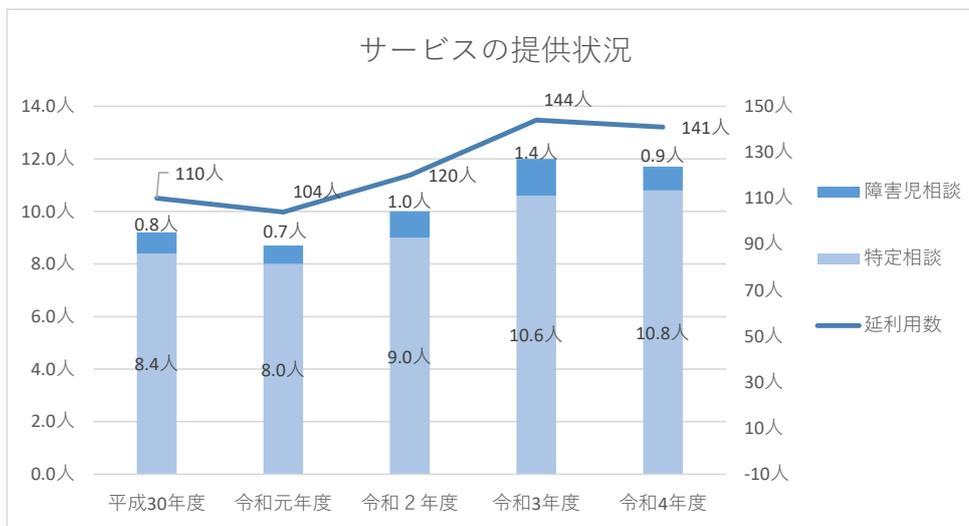
・法定である年間1人2回以上給付請求が確実に出来た。また、不安定な利用者へは毎月や短期間で関係機関等と支援会議を行うなど、寄り添った相談支援が出来た。

ア 事業所の概要

事業所の種類	指定特定相談支援事業所
	指定障害児相談支援事業所
事業所名	こまくさ指定相談支援事業所
指定年月日	平成25年3月25日指定 (令和元年3月25日更新)
指定番号	2032400059(特定相談)、2072400050(障害児相談)
人員体制	4名(常勤換算 1.0人)

イ サービスの提供状況 (1ヶ月あたりのサービス別平均利用回数及び延利用回数)

	契約数	特定相談	障害児相談	月平均	延利用数
平成30年度	50人	8.4人	0.8人	9.2人	110人
令和元年度	49人	8.0人	0.7人	8.7人	104人
令和2年度	57人	9.0人	1.0人	10.0人	120人
令和3年度	53人	10.6人	1.4人	12.0人	144人
令和4年度	53人	10.8人	0.9人	11.7人	141人



収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	2,255,230	1,773,561	481,669	0	0	481,669
令和4年度	2,107,420	1,866,822	240,598	0	△ 10,000	230,598

1420 居宅介護事業(ホームヘルパー派遣)

- ・特定事業所加算要件を満たし実施できた。
- ・登録者が増え、少しずつ安定した利用となりその分が増収となった。
- ・同行援護の研修会を受け、2名資格取得することができた。

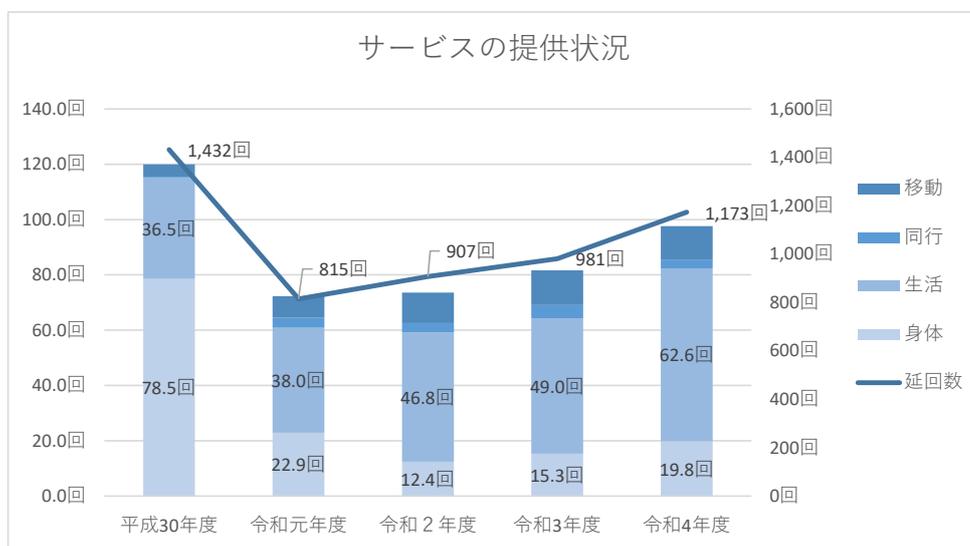
ア 事業所の概要

事業所の種類	指定障害福祉サービス事業所 (居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護)
事業所名	飯島町社協指定訪問介護事業所
指定年月日	平成18年10月1日 (平成30年10月1日指定更新) ※同行援護は、平成31年1月1日指定
指定番号	2012410011号
人員体制	6名(常勤換算 4.5人)

※職員体制、営業日等については介護保険事業の訪問介護事業と同じ。

イ サービスの提供状況 (1ヶ月あたりのサービス別平均利用回数及び延利用回数)

年 度	身体	家事	同行	移動	実人数	月平均	延回数
平成30年度	78.5回	36.5回	0.5回	4.5回	8.0人	120.0回	1,432回
令和元年度	22.9回	38.0回	3.6回	7.8回	7.8人	72.3回	815回
令和2年度	12.4回	46.8回	3.4回	11.0回	7.2人	73.6回	907回
令和3年度	15.3回	49.0回	4.8回	12.5回	8.5人	81.6回	981回
令和4年度	19.8回	62.6回	3.2回	12.0回	12.4人	97.8回	1,173回



収支状況

年 度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	3,710,200	3,920,278	△ 210,078	0	△ 140,000	△ 350,078
令和4年度	4,488,401	4,664,494	△ 176,093	0	△ 130,000	△ 306,093

1430 就労継続支援B型事業(地域自立支援事業所「こまくさ園」)

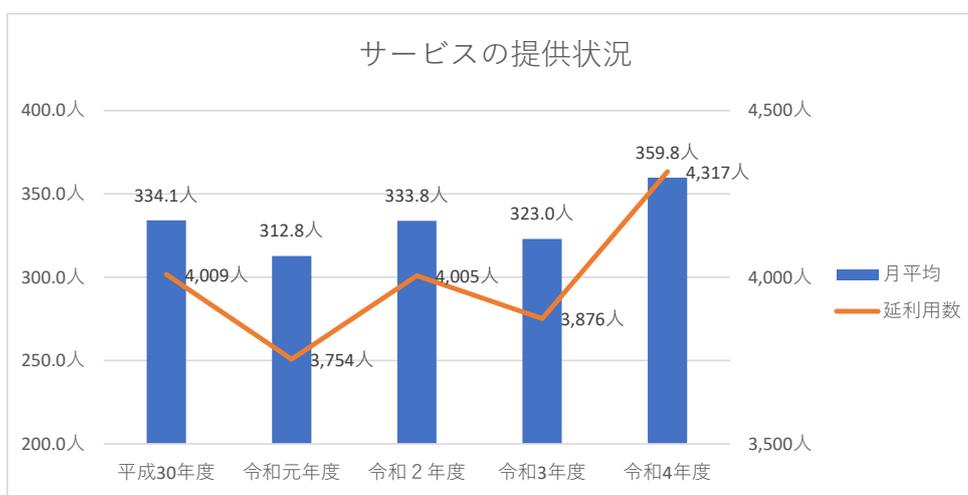
- ・平均工賃は、24,914円(令和3年度:27,874円)で2万円以上確保が出来た。
- ・障がいの特性により作業の幅が広がらない利用者に対して、専門的知見を得て作業の工夫が出来た。
- ・日常活動の中では、あいさつや言葉遣いを中心に、また動画を用いて礼儀、マナーの講習を行った。

ア 事業所の概要

事業所の種類	指定障害福祉サービス事業所 (就労継続支援B型)
事業所名	地域自立支援事業所こまくさ園
指定年月日	平成21年3月31日 (令和3年4月1日指定更新)
指定番号	2012400053
人員体制	11名(常勤換算 7.0人)

イ サービスの提供状況 (1ヶ月あたりのサービス別平均利用人数及び延利用人数)

	契約者数	1日平均	月平均	延利用数
平成30年度	20人	16.0人	334.1人	4,009人
令和元年度	19人	15.3人	312.8人	3,754人
令和2年度	21人	16.6人	333.8人	4,005人
令和3年度	20人	16.6人	323.0人	3,876人
令和4年度	21人	17.8人	359.8人	4,317人



収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	32,068,725	28,623,866	3,444,859	△ 517,000	△ 1,684,297	1,243,562
令和4年度	36,708,787	29,448,633	7,260,154	△ 527,000	△ 2,923,038	3,810,116

1440 生活介護事業所はばたき

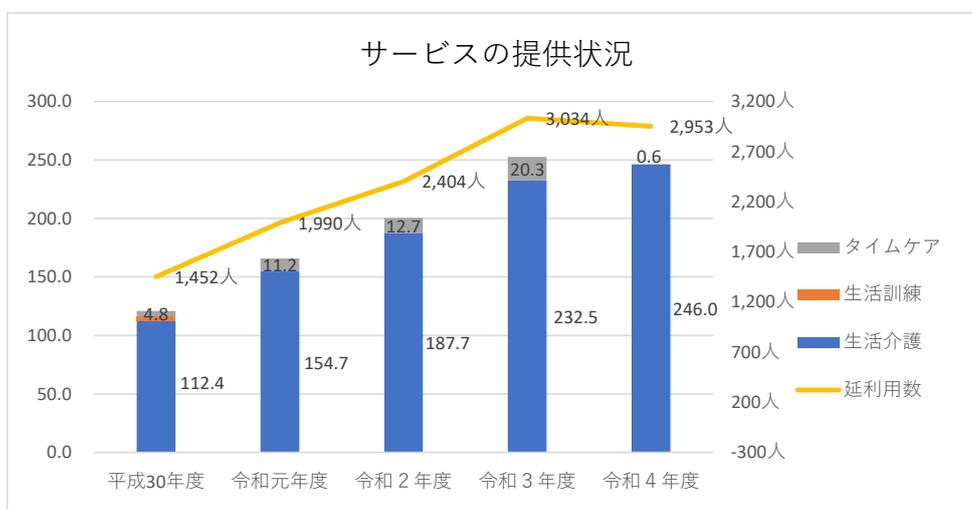
- ・コロナ感染による休業日 5/13～17 11/8～13 1/27～29 休業日13日間
- ・生活訓練利用希望がなかった為、令和4年度より生活介護のみにして定員を増やした。
- ・はばたき生活介護とデイサービス、共に大きな問題もなく共生を実現できている。
- ・コロナウィルスの感染状況を確認しながら、感染症対策をとり、菅の台へドライブ、秋の外出(ぶどう狩り)を行うことができた。

ア 事業所の概要

事業所の種類	生活介護事業所 〔生活介護〕
事業所名	生活介護事業所はばたき
指定年月日	令和4年4月1日
指定番号	2012400277
人員体制	6名(常勤換算 4.1人)

イ サービスの提供状況 (1ヶ月あたりのサービス別平均利用人数及び延利用人数)

年度	生活介護	生活訓練	タイムケア	月平均	延利用数
平成30年度	112.4人	3.8人	4.8人	121.0人	1,452人
令和元年度	154.7人	0人	11.2人	165.9人	1,990人
令和2年度	187.7人	0人	12.7人	200.4人	2,404人
令和3年度	232.5人	0人	20.3人	252.8人	3,034人
令和4年度	246人	0人	0.6人	246人	2,953人



収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	29,093,470	22,201,048	6,892,422	△ 38,500	△ 3,600,169	3,253,753
令和4年度	32,326,021	31,832,243	493,778	△ 132,000	△ 1,513,161	△ 1,151,383

1450 放課後等デイサービス事業(放課後等デイサービス「はばたき」)

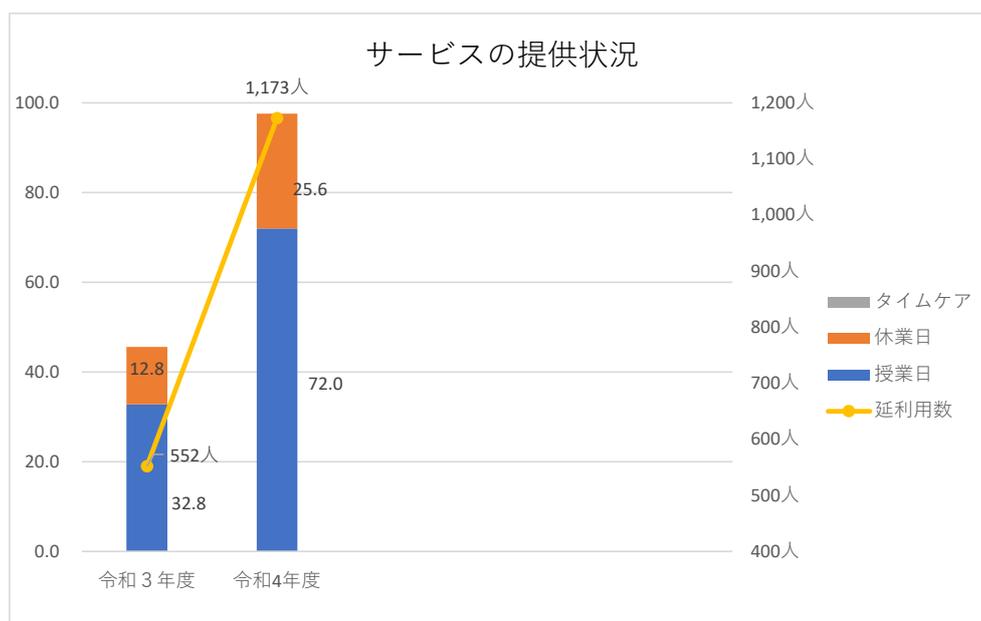
- ・コロナ感染による休業日 5/13～17 11/7～13 1/27～29 休業日14日間
- ・利用者が増え、定員を上回る希望があった。
- ・長期休み(春、夏、冬休み)朝から夕方まで利用。今後、長期休み利用時の場所の検討が必要

事業所の概要

事業所の種類	放課後等デイサービス
事業所名	放課後等デイサービス はばたき
指定年月日	令和3年8月1日
指定番号	2052400237
人員体制	5名以上

イ サービスの提供状況 (1ヶ月あたりのサービス別平均利用人数及び延利用人数)

年度	授業日	休業日	タイムケア	月平均	延利用数
令和3年度	32.8人	12.8人	0人	46人	552人
令和4年度	72人	25.6人	0人	97.7人	1,173人



収支状況

年度	事業活動収入	事業活動支出	収支差額	施設整備等資金収支差額	その他活動資金収支差額	期末資金収支差額
令和3年度	4,217,275	5,589,978	△ 1,372,703	△ 11,000	1,530,239	146,536
令和4年度	9,543,461	9,851,648	△ 308,187	△ 132,000	397,364	△ 42,823